

令和 8 年度

「運営に関する計画」

鳴野

大阪市立鳴野小学校

## 大阪市立鳴野小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校では昨年度、生活指導及び学習規律の面において課題が顕在化し、特に一部の児童の対人関係や集団内での行動に起因する事案への対応に迫られる時期があった。こうした状況を重く受け止め、関係諸機関と連携しながら、全教職員で情報を共有し、組織として粘り強く対応を重ねてきた。その結果、早期把握・初期対応を重視した生徒指導体制や、児童一人ひとりの状況に応じた支援の重要性について、教職員の共通理解が一層深まった。一方で、児童の自己肯定感や安心感の向上については、なお継続的な取組が必要であり、昨年度の成果と課題を的確に総括した上で、今年度の学校運営に生かしていくことが重要である。

こうした背景を踏まえ、本校において最重要課題として位置付けるのは、引き続き「安全・安心な教育の推進」である。いじめや不登校の兆候を早期に捉え、迅速かつ組織的に対応する体制づくりを進め、児童が「安心して登校できる学校」を実現することは、すべての教育活動の基盤である。月1回の子どもサポート委員会を核とした情報共有や、いじめアンケート等を活用した状況把握に一定の成果は見られるものの、児童の意識においては依然として課題が残っている。今後は、いじめ未然防止に資する日常的な関わりの質を高めるとともに、「いじめ100%報告」の文化を教職員間に確実に定着させ、学年や立場を越えた連携をより一層強化していく必要がある。

学力面においては、基礎・基本を重視した授業改善や、交流・対話を取り入れた学習活動の充実により、一定の成果が確認できた。学習者用端末を活用した自学自習や思考の可視化も進み、学習への意欲が高まりつつある。一方で、ICT活用の頻度や質には学年・学級間で差が見られ、授業の中で常態的に活用する段階には至っていない。今後は、系統的な指導計画に基づき、ICTを「使うこと」そのものを目的とするのではなく、学びを深めるための有効な手段として位置付け、全校的な底上げを図ることが課題である。

体力・健康面については、体育的行事や外遊びの機会確保、基本的な生活習慣の定着に向けた取組により、運動への意欲や健康意識の向上が見られた。今後も、学年の発達段階に応じた運動の充実を図るとともに、家庭と連携した生活習慣の改善に取り組んでいく必要がある。

教育環境の面では、ICT環境や図書環境の整備、働き方改革の推進により、一定の改善が見られた。特に、定時退勤への意識化や業務の見直しにより、教職員が子どもと向き合う時間を確保しようとする共通理解が進んできている。しかし、学校全体として持続可能な体制を確立するためには、業務の精選や役割分担の見直しを含め、引き続き組織的な工夫と改善が求められる。

以上の現状を踏まえ、今年度は「安全・安心」をすべての教育活動の基盤に据え、子ども一人ひとりが「できた」「分かった」「認められた」と実感できる場面を意図的に創出していく。そのために、生活指導と学習指導の両面において、教職員が共通の目標と危機意識、人権感覚を持ち、学校全体で組織的・継続的に取組を進めていくことが、本校の重要な課題である。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校であった児童の改善の割合を増加させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、**新たな考え方に気付いたりすることができていますか。**」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上に上げる。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上に上げる。
- ・ 学校アンケートにおける「すすんで勉強していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上に上げる。
- ・ 学校アンケートにおける「栄養バランスを考えながら給食を食べている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上に維持する。
- ・ 学校アンケートの「早ね・早起きをしようとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上に維持する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、「週3回以上」と回答する児童の割合を60%以上に上げる。
- ・ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
- ・ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上に上げる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 % 以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86 % 以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校であった児童の改善の割合を増加させる。

#### ＜学校独自目標＞

- ・ 学校アンケート「あいさつをしっかりとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 % 以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、**新たな考え方に気付いたりすることができていますか。**」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 % に以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86 % 以上にする。

#### ＜学校独自目標＞

- ・ 学校アンケートにおける「すすんで勉強していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70 % 以上にする。
- ・ 学校アンケートにおける「栄養バランスを考えながら給食を食べている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 % 以上に維持する。
- ・ 学校アンケートの「早ね・早起きをしようとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77 % 以上に維持する。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、「週 3 回以上」と回答する児童の割合を 60 % 以上にする。
- ・ 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。
- ・ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 % 以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

|  |
|--|
|  |
|--|

(様式2)

大阪市立鳴野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

|      |                      |                         |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した       | B: 目標どおりに達成した           |
|      | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 達成状況 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li><li>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</li><li>・年度末の校内調査において、前年度不登校であった児童の改善の割合を増加させる。</li></ul> <b>&lt;学校独自目標&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校アンケート「あいさつをしっかりとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</li></ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                         | 進捗状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 いじめへの対応】</b> <p>いじめアンケートを実施し、実態を正確に把握し、早期対応に努める。また、学級の実態に応じて「心の天気」の入力を定着させる。さらに「相談機能」により、日々の児童のサインを見逃さないようにする。</p>                    |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・学期ごとにいじめアンケートを計画的に実施し、児童の実態を正確に把握する。また、「心の天気」や「相談機能」を活用し、児童の実態把握や、問題の早期対応に努め、いじめ対応を100%にする。</li></ul>               |      |
| <b>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 不登校への対応】</b> <p>全教職員で不登校傾向にある児童の共通理解を図る。また、子どもサポート委員会やなかよしを中心に学校全体で児童の支援ができる体制を整える。気になる児童のことは児童の記録に記入しておき、情報の共有と引継ぎが確実に行われるようにする。</p> |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・月1回の子どもサポート委員会、週1回の学年研修会を行い、全教職員で共通理解する。</li></ul>                                                                  |      |
| <b>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成 人権を尊重する教育の推進】</b> <p>人権尊重の精神をはぐくみ、自己肯定感を感じることができる子を育てる。</p>                                                                                 |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・学期ごとに人権教育を実施する。また、取り組んだ内容を共有する。</li><li>・地域のボランティアの方々との交流や社会見学、外国文化に触れる体験的な活動</li></ul>                             |      |

|                                                                                                                                                 |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| を工夫して実施する。                                                                                                                                      |  |
| <b>取組内容④【基本的な方向２ 豊かな心の育成 道徳教育の推進】</b><br>① 道徳教育を推進し、自他共に認めあえる児童を育てる。<br>② 場に応じた様々なあいさつができる子どもを育てる。                                              |  |
| <b>指標</b><br>・年間計画に基づいて道徳の時間を１００％確保する。<br>・ファミリー活動を充実させ、学期に１回以上のファミリー行事を行う。<br>・児童会を中心に、前期、後期で計画的にあいさつを促す活動を設け、児童の意識の向上を図る。<br>・生活目標に定期的に取り上げる。 |  |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                         |  |
|                                                                                                                                                 |  |
| 次年度への改善点                                                                                                                                        |  |
|                                                                                                                                                 |  |

(様式2)

## 大阪市立鳴野小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 達成状況 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、<b>新たな考え方に気付いたりすることができていますか。</b>」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</li> </ul> <b>&lt;学校独自目標&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校アンケートにおける「すすんで勉強していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</li> <li>・学校アンケートにおける「栄養バランスを考えながら給食を食べている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上に維持する。</li> <li>・学校アンケートの「早ね・早起きをしようとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上に維持する。</li> </ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を知る指標                                                                                                                                                      | 進捗状況 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童が主体的に取り組めるような授業展開を研究する。</li> <li>② 基礎・基本的な学力の定着につながるような指導方法を追求する。</li> <li>③ 研修会を実施する。</li> </ul> |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究を年3回以上、研修会（メンター研修を含む。）を定期的に行う。</li> <li>・1人1授業の参観体制を整備し、計画的に実施する。</li> </ul>                                                |      |
| <b>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自主学習ノートやデジタルドリルなどの取り組みを充実させる。</li> <li>② 効果的な自主学習ノートの活用方法を探求し、校内で共有する。</li> </ul>                   |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1回程度（週末など）自主学習ノートを活用する機会を作る。</li> <li>・自主学習についての交流活動を行う。</li> <li>・デジタルドリルなどを活用し、進んで学習に取り組む機会を定着させる。</li> </ul>               |      |
| <b>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> <p>話し合い活動の充実を図る。自他の意見の共通点や相違点、考えの良さなどについて気づくことができるようにする。</p>                                                                                 |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話型を用いて、自分の意見を筋道立てて話せるようにする。</li> <li>・1時間に1回以上、ペアやグループなどでの交流場面を設定する。</li> </ul>                                                 |      |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><b>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b></p> <p>体育科の時間や休み時間に、子どもたちが運動することの楽しさを味わい意欲的に運動することにより、体力の向上につなげるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力をつけることが将来の健康維持につながることを理解させ、なかよしタイム等に外遊びをするように働きかける。</li> <li>・学期に一度、「体育的行事や取り組み」を設定し、運動することの楽しさを味わう機会を設ける。</li> </ul>                                                                                                                       |  |
| <p><b>取組内容⑤【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b></p> <p>「元気アップ週間」を実施して、早寝・早起きの意識が高まるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に一度、「元気アップ週間」を設定し、早く寝ることを意識できるようにする。朝会での校長講話などにも取り組む。</li> <li>・「ほけんだより」に「元気アップ週間」の項目に関連する内容を学期に1回は掲載し、学級での指導に活用する。</li> <li>・児童が「ほけんだより」を読む機会を増やすために、各学級教室と保健室前に掲示する。また、学級配布時に、おたよりの内容についてもふれる。</li> </ul>                                                              |  |
| <p><b>取組内容⑥【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b></p> <p>給食を通じて、食に対する関心を高め、感謝の心や望ましい食習慣を育む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が「きゅうしょくだより」や「きゅうしょくカレンダー」を見る機会を増やすために、各学級教室と給食室前などに掲示し、給食指導を行う。また、学級で内容についてもふれる。</li> <li>・食に関する指導の全体計画に沿って、栄養教諭による食の指導を各学年、年間2回以上行い、学級での食育指導に活用する。</li> <li>・残食を減らすため、13時からの「もぐもぐタイム」を全校で取り組む。</li> <li>・学期に2回以上、学級担任が授業用パソコンを使い、給食指導中に伝統行事と食の関連などについて講話する。</li> </ul> |  |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
| 次年度への改善点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |

大阪市立鳴野小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|      |                     |                        |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した       | B：目標どおりに達成した           |
|      | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 達成状況 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、「週 3 回以上」と回答する児童の割合を 60 % 以上にする。</li> <li>・ 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 % 以上にする。</li> </ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                   | 進捗状況 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <b>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員の ICT スキルの向上を図り、ICT 機器を活用した授業機会を増加させる。</li> </ul>                                    |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員の ICT スキルを向上させるため、ICT の各担当による伝達研修会を月 1 回実施する。</li> </ul>                                                                  |      |
| <b>取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が効果的に学習者用端末を活用した教育活動に取り組む。</li> </ul>                                                |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間 3 回以上、学習者用端末を活用した学習に取り組む。</li> <li>・ 年間 3 回以上、SKYMENU Cloud・Teams といった協働学習支援ツールやパワーポイントを使って、スライドを作成する活動に取り組む。</li> </ul> |      |
| <b>取組内容③【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員の時間外勤務時間が減少するように、学校全体で取り組む。</li> </ul>                                                   |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆとりの日のセット時間については、午後 5 時半を厳守する。</li> <li>・ 教員一人一人が、月に 1 回ゆとりの日以外にノー残業デーを設定し、定時退勤を行う。</li> </ul>                              |      |
| <b>取組内容④【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書室の環境整備や図書開放の時間の充実など、児童の読書数を増やすための取り組みをすすめる。</li> </ul>                                               |      |
| <b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書開放を毎日行う。</li> <li>・ 図書館の集団貸し出しを、学校として年 1 回以上利用する。</li> </ul>                                                              |      |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析                                                                                                                                                        |      |
|                                                                                                                                                                                |      |
|                                                                                                                                                                                |      |

|          |
|----------|
|          |
| 次年度への改善点 |
|          |